

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成25年11月27日)

- 1 平成24年度決算(市町村分)に係る健全化判断比率・資金不足比率(確定値)について 【地域振興課】・・・ 1ページ
- 2 鳥取県国内便エアサポート支援事業の応募状況等について 【交通政策課】・・・ 7ページ
- 3 首都圏における航空便利用促進の取り組みについて 【交通政策課】・・・ 9ページ
- 4 タイにおける知事トップセールスの結果概要について 【交通政策課】・・・ 10ページ
- 5 平成26年度鳥取環境大学推薦入試等の状況について 【教育・学術振興課】・・・ 12ページ

地 域 振 興 部

平成24年度決算（市町村分）に係る健全化判断比率・資金不足比率（確定値）について  
平成25年11月27日  
地域振興課

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」により、市町村において平成24年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率が算定され、数値が確定しましたので報告します。

1 平成24年度決算に係る健全化判断比率等

(1) 健全化判断比率

○ 早期健全化基準以上となる団体 …… なし

○ 健全化判断比率の状況（対前年度比較）

早期健全化等の判断の目安となる健全化判断比率に係る県内市町村の状況は次のとおり。

①実質赤字比率	…前年度と同様、全市町村で赤字なし
②連結実質赤字比率	…前年度と同様、赤字は米子市のみ *米子市（H23:2.34%→H24:1.69%）：流通業務団地整備事業特別会計の資金不足額の増、国民健康保険事業の赤字増があったが、介護保険事業、一般会計に収入増があったため、比率が減となった。
③実質公債費比率	…岩美町のみが増加し、その他の市町村においては、起債発行の抑制や繰上償還などにより同値か減少（＝改善） *岩美町（H23:13.5%→H24:14.1%）：単年度比率を比較すると基準財政需要額の増加等によりH23より改善しているが、H20・21実施のケーブルテレビ整備事業（総事業費約10億円）の償還がH23から開始されたことの影響により、3ヵ年平均値としては悪化した。
④将来負担比率	…岩美町が1.0ポイント増加したが、その他の市町村においては、起債発行の抑制等による地方債残高の減、基金積立の増などにより減少（＝改善） *日南町：前年度と同様、将来負担比率なし（＝資金不足が生じていない）

※健全化判断比率の内容、早期健全化基準・財政再生基準、市町村ごとの比率については、＜参考＞を参照してください。

(2) 資金不足比率（公営企業に係る指標）

○ 経営健全化基準以上となる団体 …… 米子市（流通業務団地整備事業特別会計）

米子市：平成20年度決算に基づく比率（資金不足比率）で基準超過し、平成21年度に経営健全化計画を策定し取組み中。

○ 資金不足が発生した公営企業会計及び資金不足比率の状況

市町村名	公営企業会計名	資金不足比率		
		平成24年度決算	平成23年度決算	資金不足比率が増加（悪化）した要因
米子市	流通業務団地整備事業特別会計	83.3%	72.9%	分譲価格の値下げ、進出率向上等により、土地収入見込額が減となったため。
境港市	土地区画整理費特別会計	1.7%	—	分譲により、土地収入見込額が減となったため。
智頭町	病院事業会計	1.8%	4.8%	—
三朝町	国民宿舎事業会計	14.7%	11.8%	料金収入（利用客）の減による収支悪化による。
北栄町	下水道事業特別会計	2.0%	3.1%	—

※「資金不足比率」：公営企業ごとの資金不足の比率（対事業の規模（営業収益））  
 資金不足比率の経営健全化基準＝20%

## 2 今後のスケジュール

11月 ・総務省が全国確定値を公表

### <参考>各市町村の健全化判断比率一覧

各市町村のいずれの指標も早期健全化基準及び財政再生基準を下回っている。

(単位：%)

指標 市町村名	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
	一般会計等の実質赤字の比率 (対標準財政規模)	公営企業会計も含めた実質赤字の比率 (対標準財政規模)	一般会計等が負担する元利償還金等の比率 (3ヶ年平均) (対標準財政規模)	一般会計等が将来負担すべき債務の比率 (対標準財政規模)
鳥取市	赤字なし	赤字なし	15.0	101.4
米子市	赤字なし	1.69	19.8	161.7
倉吉市	赤字なし	赤字なし	16.0	130.5
境港市	赤字なし	赤字なし	16.7	90.3
岩美町	赤字なし	赤字なし	14.1	64.9
若桜町	赤字なし	赤字なし	10.6	2.6
智頭町	赤字なし	赤字なし	11.6	81.8
八頭町	赤字なし	赤字なし	10.9	67.6
三朝町	赤字なし	赤字なし	13.1	7.7
湯梨浜町	赤字なし	赤字なし	16.5	71.8
琴浦町	赤字なし	赤字なし	14.3	155.0
北栄町	赤字なし	赤字なし	18.2	132.9
日吉津村	赤字なし	赤字なし	9.3	13.6
大山町	赤字なし	赤字なし	16.3	39.5
南部町	赤字なし	赤字なし	13.8	41.7
伯耆町	赤字なし	赤字なし	13.2	38.4
日南町	赤字なし	赤字なし	12.0	- (*1)
日野町	赤字なし	赤字なし	21.1	50.7
江府町	赤字なし	赤字なし	17.0	66.8
早期健全化基準	11.25~15 (*2)	16.25 ~20 (*2)	25	350
財政再生基準	20	30	35	
(参考)県分	赤字なし	赤字なし	12.7	115.1
早期健全化基準	3.75	8.75	25	400
財政再生基準	5	15	35	

\* 1. 「-」は、当該比率が生じていない（資金不足が生じていない）ことを表している。

\* 2. 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の早期健全化基準は市町村の財政規模に応じて設定される。

<参考>

平成24年度市町村普通会計の決算の概要

平成24年度市町村の普通会計について、歳入は、評価替えに伴う固定資産税の減、子どものための金銭の給付交付金、地域活性化交付金等の国庫支出金の減等により、総額で2,963億35百万円(▲1億59百万円)となりました。

また、歳出は、地域活性化交付金による普通建設事業費の減等があったものの、障害者自立支援関係扶助費、生活保護費の増、公立大学法人となった鳥取環境大学への運営交付金の増等により、総額で2,880億7百万円(+1億10百万円)となりました。実質収支は、68億28百万円(▲1億35百万円)となりました。

積立金現在高は692億39百万円(+49億55百万円)、地方債現在高は3,188億68百万円(▲61億18百万円)となりました。

経常収支比率は、87.5%(+0.5)で、高い水準が続いています。

<歳入>

(単位：百万円、%)

区分	平成24年度		平成23年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
地方税	65,649	22.2	66,997	22.6	▲1,348	▲2.0
地方譲与税	2,282	0.8	2,445	0.8	▲163	▲6.7
地方特例交付金	235	0.1	802	0.3	▲567	▲70.7
地方交付税	96,000	32.4	95,166	32.1	834	0.9
地方消費税交付金等各種交付金	6,606	2.2	6,636	2.2	▲30	▲0.5
国・県支出金	54,518	18.4	57,025	19.2	▲2,507	▲4.4
地方債	28,133	9.5	27,355	9.2	778	2.8
繰入金	2,022	0.7	1,816	0.6	206	11.3
その他	40,890	13.8	38,252	12.9	2,638	6.9
歳入合計	296,335	100.0	296,494	100.0	▲159	▲0.1

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

○主な増減

【地方税】 評価替えに伴う課税額の減による固定資産税の減等

【地方交付税】 固定資産税収の大幅減による普通交付税の増等

【国庫支出金】 子どものための金銭の給付交付金、地域活性化交付金の減等

【地方債】 学校耐震化等に係る緊急防災・減災事業債の増等

<歳出>

(単位：百万円、%)

区分	平成24年度		平成23年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	127,729	44.3	127,679	44.3	50	0.0
うち人件費	41,034	14.2	41,724	14.5	▲690	▲1.7
うち扶助費	47,607	16.5	45,176	15.7	2,431	5.4
うち公債費	39,088	13.6	40,778	14.2	▲1,690	▲4.1
投資的経費	32,760	11.4	33,663	11.7	▲903	▲2.7
うち普通建設事業費	29,302	10.2	31,714	11.0	▲2,412	▲7.6
うち補助事業費	12,270	4.3	14,775	5.1	▲2,505	▲17.0
うち単独事業費	16,283	5.7	15,992	5.6	291	1.8
うち災害復旧事業費	3,458	1.2	1,948	0.7	1,510	77.5
その他の経費	127,518	44.3	126,555	44.0	963	0.8
うち物件費	34,198	11.9	35,590	12.4	▲1,392	▲3.9
うち補助費等	34,295	11.9	29,315	10.2	4,980	17.0
うち積立金	6,267	2.2	5,483	1.9	784	14.3
うち貸付金	16,962	5.9	16,790	5.8	172	1.0
うち繰出金	32,256	11.2	35,841	12.4	▲3,585	▲10.0
歳出合計	288,007	100.0	287,897	100.0	110	0.0

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

○主な増減

【扶助費】 生活保護費、障害者自立支援関係扶助費の増等

【普通建設事業費】 学校給食共同調理場整備事業(八頭町)の終了による減等

【災害復旧費】 平成23年度に発生した台風災害に係る復旧事業の増等

【補助費】 鳥取市の下水道事業が法非適用事業から法適用事業に移行したことにより、繰出金が補助費に変更したことによる増

公立大学法人となった鳥取環境大学への運営交付金の増等

平成24年度 市町村別普通会計決算の状況

(単位:百万円、%)

市町村名	歳入総額		歳出総額		実質収支		経常収支比率		地方債現在高		積立金現在高							
	増減額	一般財源等	増減額	増減額	増減額	増減額	増減額	増減額	増減額	増減額	増減額	増減額						
鳥取市	94,647	3,323	51,872	△ 237	92,691	3,702	40,773	1,038	10,763	1,726	1,593	△ 358	83.4	0.5	103,917	△ 2,301	12,301	933
米子市	57,822	530	30,284	108	56,785	381	27,729	△ 223	4,761	△ 75	958	115	92.8	△ 0.5	63,394	△ 1,229	4,131	320
倉吉市	27,013	△ 578	14,485	△ 407	26,257	△ 726	11,674	△ 451	3,757	△ 287	634	196	92.4	△ 0.1	28,110	859	4,983	346
境港市	14,882	△ 251	8,214	△ 126	14,571	△ 67	6,770	△ 143	1,629	65	157	△ 277	93.0	1.8	12,082	△ 355	4,626	△ 2
岩美町	6,582	431	4,085	△ 13	6,469	437	2,704	141	672	172	100	19	92.6	4.0	7,068	△ 67	3,175	57
若桜町	3,289	△ 349	2,211	78	3,086	△ 399	1,210	120	426	△ 424	165	35	85.9	2.4	3,085	△ 128	1,659	50
智頭町	5,769	△ 399	3,886	△ 4	5,336	△ 504	2,158	17	529	△ 396	396	113	77.2	△ 1.0	4,829	△ 28	2,478	176
八頭町	10,787	△ 295	7,181	55	10,289	△ 364	4,435	212	801	△ 491	402	14	84.9	0.7	11,815	△ 8	3,954	720
三朝町	5,243	732	3,066	△ 13	5,179	725	1,935	△ 44	968	731	62	26	85.4	△ 0.2	4,151	205	1,772	238
湯梨浜町	9,548	△ 920	6,404	△ 119	9,310	△ 813	4,664	67	400	△ 979	215	△ 92	80.6	2.9	14,253	△ 874	5,332	546
琴浦町	10,691	△ 904	6,368	86	10,427	△ 925	4,409	254	1,879	△ 591	118	△ 23	89.0	△ 1.0	15,524	242	3,552	166
北栄町	7,974	△ 275	5,307	△ 11	7,768	△ 200	3,548	△ 40	731	△ 198	202	18	88.3	0.2	9,011	△ 303	2,595	75
日吉津村	2,163	51	1,389	△ 49	2,075	58	865	2	248	113	86	△ 3	84.7	1.1	1,699	△ 24	1,144	141
大山町	10,853	△ 984	7,268	△ 251	10,394	△ 904	4,234	△ 252	1,140	△ 678	333	5	86.4	△ 0.1	12,274	△ 665	4,479	422
南郷町	7,140	△ 162	4,714	△ 105	6,855	△ 95	2,895	△ 113	698	△ 56	186	△ 89	84.3	△ 0.3	7,427	△ 433	3,384	201
伯耆町	8,302	△ 88	5,047	△ 123	7,869	△ 97	3,134	△ 292	1,471	286	314	0	87.4	△ 2.0	7,684	△ 191	3,425	95
日南町	6,695	54	4,070	△ 68	6,079	△ 101	1,902	△ 176	1,263	173	577	213	90.9	1.6	5,827	△ 291	3,649	0
日野町	3,423	△ 13	2,522	43	3,197	10	1,298	28	282	83	190	△ 14	89.5	3.4	2,905	△ 262	1,379	213
江府町	3,522	△ 64	2,401	△ 76	3,367	△ 10	1,390	△ 123	344	△ 75	141	△ 81	84.1	△ 4.7	3,815	△ 263	1,220	257
合計 (平均)	296,335	△ 159	170,772	△ 1,274	288,007	110	127,729	50	32,760	△ 903	6,828	△ 135	87.5	0.5	318,868	△ 6,118	69,239	4,955

※繰越処理により、計と内訳が一致しない場合がある。  
※一般財源とは、地方税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税等をいう。

平成24年度市町村地方公営企業の決算の概要

平成24年度市町村地方公営企業の決算について、収益的収支における総収益は、水道事業や下水道事業において料金収入の減があったものの、病院事業の医業収益の増により、479億54百万円（+5億89百万円）となった。総費用は、下水道事業6事業が法非適用企業から法適用企業へ移行したことに伴う減価償却費の新規計上等の影響により、414億58百万円（+29億15百万円）となった。

資本的収支における資本的収入は195億70百万円（+99百万円）で、概ね横ばいに推移した。資本的支出は、水道事業や下水道事業における建設改良費の増により、334億91百万円（+22億64百万円）となった。

また、総収支は△43億86百万円（△9億43百万円）となった。

企業債の新規発行額は83億82百万円（△73百万円）、企業債残高は3,156億28百万円（△123億84百万円）となった。公営企業全体としては、新規事業抑制の傾向にある。

(単位：百万円)

区分	収益的収支								
	総収益			総費用			収支差引		
	24年度	23年度	増減	24年度	23年度	増減	24年度	23年度	増減
水道	9,794	9,896	△102	9,003	9,291	△288	791	604	186
工業用水道	36	36	△0	26	28	△2	10	8	1
病院	16,585	16,077	507	16,009	15,818	191	576	260	317
電気	360	312	48	144	127	17	216	185	31
下水道	18,949	19,006	△57	15,156	12,064	3,092	3,793	6,942	△3,149
市場	77	86	△9	34	35	△1	43	51	△8
観光施設	1,210	1,121	89	878	960	△82	332	161	171
宅地造成	589	438	151	25	23	2	564	415	149
駐車場整備	146	156	△10	81	93	△12	65	63	2
介護サービス	209	238	△29	101	105	△3	108	133	△25
合計	47,954	47,365	589	41,458	38,543	2,915	6,496	8,822	△2,326

(単位：百万円)

区分	資本的収支									総収支		
	資本的收入			資本の支出			収支差引			【純損益(法適)+実質収支(非適)】		
	24年度	23年度	増減	24年度	23年度	増減	24年度	23年度	増減	24年度	23年度	増減
水道	3,915	3,327	588	8,252	7,310	942	△ 4,337	△ 3,983	△ 354	472	335	137
工業用水道	3	0	3	27	19	8	△ 24	△ 19	△ 5	10	8	1
病院	1,194	1,281	△ 87	2,095	2,199	△ 104	△ 901	△ 918	17	576	260	317
電気	0	0	0	178	177	0	△ 178	△ 177	△ 0	11	4	7
下水道	13,476	14,228	△ 751	21,298	20,239	1,058	△ 7,821	△ 6,012	△ 1,810	△ 960	736	△ 1,696
市場	12	0	12	30	65	△ 36	△ 18	△ 65	47	△ 1	△ 2	1
観光施設	617	254	363	851	470	381	△ 234	△ 216	△ 18	△ 44	△ 65	22
宅地造成	53	208	△ 154	406	346	60	△ 352	△ 138	△ 214	△ 3,874	△ 4,185	311
駐車場整備	78	77	1	180	181	△ 1	△ 102	△ 104	2	△ 579	△ 534	△ 45
介護サービス	221	96	125	175	220	△ 46	46	△ 125	171	3	0	3
合計	19,570	19,471	99	33,491	31,227	2,264	△ 13,921	△ 11,757	△ 2,165	△ 4,386	△ 3,444	△ 943

# 鳥取県国内便エアサポート支援事業の応募状況等について

平成25年11月27日  
交通政策課

10月28日から募集を開始した鳥取県国内便エアサポート支援事業の応募状況については、以下のとおりです。

## 1 事業の概要

県内への移住定住を予定している方、県内で研修・会議を実施する事業者、介護のために鳥取へ来られる方や子どもが、鳥取空港、米子鬼太郎空港発着の国内便を利用される際の航空運賃の半額又は全額を助成することにより、移住定住促進、子育て王国など鳥取県の重点施策と連携した航空便利用を促進することにより、重点施策の周知、理解促進に加え、航空便の安定的な需要創出を図る。

- (1) 募集期間 平成25年10月28日(月)～平成26年3月20日(木)
- (2) 対象搭乗期間 平成25年11月18日(月)～平成26年3月31日(月)
- (3) 対象となる便 鳥取・米子鬼太郎空港を発着する国内便
- (4) 募集区分及び対象者
  - ①移住定住促進(鳥取県への移住定住を予定する県外在住者など)
  - ②企業活動誘致(県内での研修・会議等を実施する県外事業者など)
  - ③介護等(県内在住者の介護を行う県外在住者)
  - ④子育て王国とっとり推進(県内に在住する12歳未満の子どもなど)

## 2 応募状況(11月22日(金)午後5時現在)

- (1) 移住定住促進 1件
- (2) 企業活動 0件
- (3) 介護等 2件
- (4) 子育て王国とっとり 158件

※応募者に対しては、事前申請順に受け付け、順次認定中。

※鳥取空港85件、米子鬼太郎空港73件(うち10件はスカイマーク便利用)。

## 3 応募者からの声等

- ・子どもが多く、なかなか飛行機を利用する機会が無かったが、この制度を機会に初めて利用したい。今後も是非続けて欲しい。
- ・一度移住を検討して県内に在住したが、今回具体的な移住を検討するためにこの制度を活用したい。
- ・一部の方への高額な助成となるため、より幅広い利用促進策とすべき。

## 4 今後の対応

- ・東京本部とも連携し、首都圏在住者(移住定住促進、企業活動分野)への制度のPR等を強化する。
- ・今後、報告段階で提出される制度利用者からのレポートなども参考に、より効果的な制度となるよう見直した上で拡充を図っていく。



<応募状況>

単位：件

旅行出発便搭乗日	移住定住	企業活動	介 護	子 育 て
11月18日～11月30日			1	20
12月1日～12月31日				65
1月1日～1月31日	1			27
2月1日～2月28日				9
3月1日～3月31日			1	37
合 計	1		2	158

【参考】

<支援数の割当て計画>

単位：件

旅行出発便搭乗日	移住定住	企業活動	介 護	子 育 て
11月18日～11月30日	10	10	10	10
12月1日～12月31日	20	20	10	25
1月1日～1月31日	20	10	10	25
2月1日～2月28日	10	20	10	20
3月1日～3月31日	10	20	10	20
合 計	70	80	50	100

## 首都圏における航空便利用促進の取り組みについて

平成25年11月27日  
東 京 本 部  
交 通 政 策 課  
観 光 政 策 課

首都圏における航空便利用促進の取り組みについて、今後、次の事業を実施する予定です。

### 1. 「食のみやこ鳥取県×羽田空港 どんぶりフェア」

羽田空港のレストランで県産食材を使った特別メニューを提供するとともに、その店舗内外で特別な装飾や本県物産の販売を行うことにより、鳥取・米子への航空路線、本県の食や観光等に関する情報を集中的に発信する。

- (1) 開催時期 11月9日(土)～12月15日(日)
- (2) その他 鳥取県フェアPRチラシの配布、ポスターの掲出(京急車内、京急・羽田空港駅、モノレール・羽田第1ビル駅等)

### 2. 鳥取県観光PR隊キャラバン

本県との間に新たにスカイマークの路線が開設される地域で、山陰の冬の味覚「松葉がに」や県下各地の「温泉」等の観光魅力を紹介するPRキャラバンを実施し、当該航空路線を利用した観光誘致を促進する。

#### (1) キャラバン隊

鳥取県旅館組合おかみの会、鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合、とっとり観光親善大使、鳥取県職員等で編成

#### (2) 日程(案)

- 12月2日 観光経済新聞、旅行新聞、東京メトロポリタンテレビ(MXTV)
- 3日 千葉日報、旅行会社訪問、千葉テレビ等
- 4日 茨城県庁、茨城県記者クラブ、NHK茨城等

### 3. 「鳥取Fes」

鳥取県にゆかりのあるお店(飲食店等)と連携し、鳥取の食を中心としたPRイベント「鳥取Fes」を首都圏で展開。首都圏と鳥取を結ぶ航空路線についてもPRする。

- (1) 開催時期 12月5日(木)～翌年1月31日(金)
- (2) その他 「メトロガイド1月号」(100万部)への記事掲載、ゆかりの店での鳥取県PR等

### 4. その他

- 12月下旬(調整中) 茨城空港での鳥取物産展
- 翌年1月(調整中) 木更津アウトレットモールでの鳥取県・千葉県合同PR
- 翌年2月(調整中) スカイツリーでの鳥取県観光PR

## タイにおける知事トップセールスの結果概要について

平成25年11月27日  
通商物流室・国際観光推進課  
交流推進課・交通政策課

平井知事、野田県議会議長及び県内企業等がタイのバンコク都を訪問し、鳥取県東南アジアビューローの開所、タイ工業省とのMOU（覚書）の締結、バンコク鳥取フェアの開催及び観光・航空関係者等への知事トップセールス等を行いました。

### 1. 知事日程

日付	日 程
11月11日（月）	バンコク着 バンコク鳥取フェアでの販売促進 バンコク鳥取フェア出展企業及びバイヤーとの意見交換会 【バンコク都内泊】
11月12日（火）	鳥取県東南アジアビューロー開所式 鳥取県経済団との意見交換会 タイ工業大臣表敬及びMOU締結 鳥取県の夕べ in バンコク 県内現地進出企業との意見交換会 【バンコク都内泊】
11月13日（水）	アジア・アトランティック航空訪問 JTBタイランド訪問 日本政府観光局バンコク事務所及び旅行会社等との意見交換会 デジタルハリウッド大学バンコク校及び米子校の提携式 在タイ日本国大使館訪問 タイ旅行業協会会長との意見交換会 【バンコク都内泊】
11月14日（木）	バンコク発

### 2. 訪問団

平井伸治知事、野田修議長、県内企業（機械、電機、食品加工、農事組合法人等）、鳥取県産業振興機構等

### 3. 各訪問先での概要

#### (1) バンコク鳥取フェアでの販売促進

- 鳥取県産食品の消費拡大につなげるため、農事組合法人広岡農場、株式会社越河など県内7事業者は11月8日から14日までの7日間、バンコク都のエンポリアム・デパートメントストアで鳥取フェアを開催した。11日には平井知事や野田議長が、鳥取県産の梨（王秋、新興梨）、リンゴ、白ネギ、カニ加工品、日本酒、スイーツなどがずらりと並んだ会場にかけつけ販促活動を行った。
- フェア会場では鳥取県出身で現在バンコク在住の漫画家、正善（しょうぜん）みぎわ氏による「似顔絵コーナー」を設け、好評を得るなど本県のPRに一役買った。平井知事はバンコクの百貨店食品モール統括マネージャーと面談し鳥取県産品の継続販売、取扱品目の拡大を要請した。
- 平井知事がトラベル・チャンネル（地元ケーブルテレビ）の番組取材に対して、物産や観光の魅力をアピールした。

#### (2) 鳥取県東南アジアビューロー開所式

- バンコク都シーロム地区チャーン・イサラタワー7Fに委託方式による鳥取県東南アジアビューローを開所するに当たり、鳥取県知事、在タイ日本国大使館、県内企業等約30名が参加するなか開所式を行った。知事はアセアン市場における、鳥取県の企業の販路・受注拡大に向けた支援を積極的に進めたいとビューロー設置の目的を強調した。
- 引き続き、事務所看板の除幕式、テープカットなどが行われ、ビューローの執務室、会議室などを参加者や現地報道陣に公開した。
- ビューローの会議室では、知事、県議会議長、鳥取県内企業及びビューロー受託企業が今後の東南アジアビューローの役割や活用方策等について意見交換を行った。

#### (3) タイ工業大臣表敬及びMOU締結

- 鳥取県とタイ工業省とは、双方の中小企業の技術のマッチングや人材育成をはじめとした経済・産業分野における緊密な関係の確立など、今後の相互利益のための連携強化を目的として、タイ工業省にて、「タイ王国工業省と日本国鳥取県庁との間の協力に関する覚書（MOU）」の調印式を行った。

- ・調印は、プラスト・ブンチャイスック工業大臣との意見交換の後、大臣立ち会いのもと平井知事とアンチャカー・シーブンルアン産業振興局長との間で結ばれ、県からは経済界を代表して県内企業3社(気高電機(株)、(株)鳥取メカシステム、寿製菓(株))の代表とタイ進出済みの県関連企業1社(ダイヤモンド電機(株))の現地代表、鳥取県産業振興機構が立ち会った。

#### (4) レセプション「鳥取県のタペ in バンコク」

- ・タイ工業省産業振興局長をはじめとするタイの政府関係者、スコートタイ県のパンシリ自治体長、在タイ日本大使館公使、企業関係者、現地旅行会社、日本食材バイヤーら約170人を招き、鳥取県東南アジアビューロー開所記念レセプションをバンコク都内のホテルで開催した。
- ・タイ工業省アンチャカー・シーブンルアン産業振興局長は「今後タイと鳥取県の企業の連携に力を入れたい。鳥取県は鳥取砂丘、大山など自然が豊かで漫画も有名。」とあいさつした。
- ・レセプションでは鳥取県産のスパークリングワイン、日本酒を提供したほか、鳥取県の観光紹介、まんが、鳥取県食材の紹介などを行った。特に鳥取県産の白いか、ねばりっこを使ったお好み焼き、べにズワイガニ、ねばりっこを使った「カニのねばりっこ揚げねぎあんかけ」が好評を博すなど県産食材のPRにも重点を置いた。
- ・タイ進出済みの県内企業のタイ工業省との人脈形成、鳥取県東南アジアビューロー開設を参加者に対し広くPRする機会となった。

#### (5) アジア・アトランティック航空訪問

- ・平井知事から鳥取の自然、食、まんがなどの概要説明と併せ、12月のスカイマークの新規就航など直近の県内航空情報を提供し、タイから鳥取への観光誘客やチャーター便の可能性について意見交換を行った。
- ・先方からは、スカイマークの成田米子便を活用したタイからの旅行商品造成を検討したいとの意向が示されるとともに、チャーター便の可能性を含め、今後連携して検討したいとの積極的な提案がなされた。

#### (6) JTBタイランド訪問

- ・平井知事から鳥取の自然、食、まんがなどの概要説明と併せ、12月のスカイマーク新規就航など直近の県内航空情報を提供し、タイから鳥取への観光誘客について意見交換を行った。
- ・先方からは、タイからの旅行商品造成を積極的に検討したいとの意向が示された。

#### (7) 日本政府観光局バンコク事務所及び旅行会社等との意見交換

- ・タイからの訪日観光客の動向等について、情報交換を行うとともに、鳥取県への送客への協力について依頼した。

#### (8) デジタルハリウッドバンコク校・米子校の調印式

- ・デジタルハリウッド STUDIO 米子を運営する(有)クレイドの平尾代表取締役とデジタルハリウッド タイランド(株)の小林代表取締役兼CEOが、受講生の国際交流や能力向上、タイから鳥取県への観光誘客等に寄与する活動を行うことを目的として、平井知事立ち会いのもと、調印式を行った。

#### (9) 佐藤重和(さとうしげかず)タイ王国駐劔特命全権大使表敬訪問

- ・平井知事から、佐藤大使に対し、このたびの鳥取県東南アジアビューローの開所、タイ工業省と鳥取県との覚書の締結、物産フェアの開催、観光客誘致に向けた関係先訪問及び観光PRなどの取り組みを紹介し、大使に今後の支援について要請した。
- ・佐藤大使から、タイ人の訪日旅行、名探偵コナンをはじめとするアニメなどポップカルチャーや果物等の嗜好について説明があり、まんが王国などタイ人が親しみやすいものを活かした観光案内の充実が重要であるとの説明があり、平井知事より、鳥取県の交流支援について要請した。

#### (10) スティボン・ブアンピポップ・タイ旅行業協会長との意見交換

- ・平井知事から鳥取の自然、食、まんがなど観光の他、関西、羽田及び仁川へのアクセス、12月のスカイマークの新規就航など鳥取県について説明を行うとともに、タイから鳥取県への観光誘客について協力を依頼した。
- ・先方から、鳥取への送客に向けて協力していくとの意向が示され、鳥取県の観光地等のタイの旅行者による視察を、早ければ1月上旬にも行う方向で一致した。

平成26年度鳥取環境大学推薦入試等の状況について

平成25年11月27日  
教育・学術振興課

鳥取環境大学の平成26年度アドミッション・オフィス（AO）入試及び推薦入試が終了しましたので、その概要について報告します。

1 入試の実施状況

① [入試の変更点]

- ・AO入試の募集定員を各学部5人増やし、10人に変更しています。  
併せて、一般入試のうち後期日程を15人減らし、前期日程を10人増やしています。

② [志願状況]

- ・AO入試の志願者数は、昨年度とほぼ同じであったものの、県内の志願者は、大幅に増加しました。
- ・推薦入試の志願者は、昨年度比12人の増加、特に経営学部は26人の増加と大幅な志願増となりました。

【AO入試】 試験日：10月5日、6日 (人)

区 分	平成26年度			平成25年度		
	環境	経営	大学計	環境	経営	大学計
募集定員	10	10	20	5	5	10
志願者	62	54	116	76	39	115
うち県内	13	18	31	5	11	16
志願倍率	6.2	5.4	5.8	15.2	7.8	11.5
合格者	11	14	25	6	7	13
うち県内	0	4	4	1	3	4

【推薦入試】 試験日：11月16日、17日 (人)

区 分	平成26年度			平成25年度		
	環境	経営	大学計	環境	経営	大学計
募集定員	43	43	86	43	43	86
志願者	73	69	142	87	43	130
うち県内	13	18	31	19	20	39
志願倍率	1.7	1.6	1.7	2.0	1.0	1.5
合格者	47	47	94	44	37	81
うち県内	8	14	22	13	17	30

2 今後の入試予定

- 大学入試センター試験 平成26年1月18日(土) 19日(日)
- 鳥取環境大学一般入試(2次試験) (人)

入試区分	募集定員		試験日	合格発表日
	環境	経営		
前期 日程	A方式	60	2月25日(火)	3月6日(木)
	B方式	15		
後期日程	10	10	3月13日(木)	3月22日(土)